

る。世界大会に示された宣言をさらに一歩進めて具体的な行動、活動方針を決めるもので、とくに世界連邦の理念に立つて国連憲章の改正を求める「東京提案」を討議、決する予定である。
京都での総会は、二千人が参加した東京大会と異り、投票権を持つた二十九国のWAWF加盟国代表とオブザーバー約三百人だけに出席者を限り、東京提案のほか各国代表の提案を討議、新会長と、二年後の次回世界大会開催

c084-016-029



ボイスカウトらの儀仗(きよじよ)に迎えられ京都入りした世界連邦協会外国代表(国鉄京都駅)

京都入り・レセプション 外国代表ら拍手 世界連邦踊り

【京都】世界連邦世界協会総会は二十九日から京都で開かれ、国連憲章の改正を国連に提案する東京提案を決議したが、この

会議に出席する外国代表百五十五人が二十八日午後二時五十八分着の特急「第二つばめ」で京都入りした。バスに分乗、宿舎の京都国際ホテルにはいった。
なお同日午後五時からは京都市、京都商工会議所共催のレセプションが京都国際ホテルで開かれた。スタンレー世界協会常務会長ら各国会員のほか、高山京都市長夫妻、中野京都商工会議所会頭夫妻、世界協会会長湯川秀樹氏夫妻や世界連邦日本協議会会長北村徳太郎氏ら日本人会員ら約二百五十人が出席、高山市長は「伝統のみで京都を十分お楽しみ下さい。通日イタリヤのナポリを訪れ、ナポリを見て死ね」の格言もむべなるかなと強い印象を受けました。京都に対してこの格言は過分のものといえるでしょうが、少なくとも「京都を昇りして日本を語るな」とは申しあげたい」とあいさつ、満場の拍手をあげた。
続いて湯川教授も歓迎のあいさつを述べ、アトリー元英首相夫人も同日夜の朝日新聞社主催講演会に出席する前に姿を見せた。このあと日本人会員の夫人、令嬢らによる日本舞踊や板東三津葉さん振付による「世界連邦踊り」が披露され、拍手をあげていた。

c084-016-028

記者会見する(右二目から)ウィングデン執行委員長、湯川会長、スタンレー会長、ラジャン・ネル夫人

世界連邦世界協会(WAWF・湯川秀樹会長)の京都総会は、きことと述べ、スタンレー理事する。(十一面に関連記事)

c084-016-030